

# 城 趾

「城趾が丘の旭光」と校歌にも歌われる「横内城」  
「日本一美味しい水」といわれる清流・横内川  
そんな「清流と古城の里」にある横内中学校は、  
未来に羽ばたく横中生を応援します！

文責：教頭

## 我慢の9月、「困難」乗り越え「成長」へ！！

（9月7日全校集会校長講話より）

「Adversity makes a man wise.」という英語のことわざがあります。「人は苦勞・困難を乗り越えることによって立派な人物になる。」という意味です。今日は、このことわざについて、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

昨日の閉会式で、日本中、世界中を感動に巻き込んだ東京パラリンピックが終わりました。メダルの有無にかかわらず、パラリンピアンたちの競技に臨む真剣な眼差しと、競技が終わった後のすがすがしい笑顔に、私も無意識のうちに引きこまれていきました。その中でも印象に残ったのが、14歳で最年少メダリストになった中学3年生、競泳背泳ぎの山田美幸選手です。生まれつき両腕が無く、左右の足の長さも異なる山田選手は、リズムカルなキックでグイグイ進んでいきます。そんな競技中の頼もしい姿とは裏腹に、競技が終わった後のインタビューを観ると、その屈託の無い笑顔と、豊かな感情表現から、とても素敵な中学生の女の子という印象を受けました。普段は電動車椅子で生活をしている美幸さんですが、大会後の生活について問われ、「高校受験があるので、まずは勉強」と答えながらも、「次のパリ大会では、金メダル」という目標を掲げています。

障害の無い「健常者」から見れば、「これまでどれだけ大変だっただろう」とか「障害があるのに立派だ」とか思ってしまうのですが、美幸さんの受け答えからは、そんな悲壮感は微塵も感じられず、インタビューを聞けば聞くほど、美幸さんの人間性、キャラクターにどんどん引き込まれていきました。不自由が当たり前前の生活の中で、「どうすればできるか」「どうすれば強くなれるか」を考え、実践してきたからこそ、人としての魅力が備わったのではないかと思っています。

さて、美幸さんの話を、私たちの学校生活に置き換えて考えてみます。夏休み明け、新型コロナの流行拡大で、学校生活が大きな影響を受けています。学校行事が無くなり、また、部活動だけでなく新人戦までもが中止になりました。単純に考えると、「せっかく準備してきたものが全て無駄になった」と感じるでしょう。学校行事については、このあと、どのように対応するか、先生方で考えているところですが、新人戦については、せっかく夏休みに伸ばした実力を発揮する場がなくなったということで、がっかりしている人も多いのではないのでしょうか。

しかし、ここで、最初にお話したことわざ「Adversity makes a man wise.」を思い出してほしいのです。たとえば、夏の甲子園に出場した学校の中には、練習ができない間、Zoomやclassroomで集まって、時間を決めて勉強し、そのあとみんなでトレーニングしていたという学校もありました。そのお陰でチームワークが向上し、甲子園に出場できたというエピソードを聞きました。練習ができないという困難の中、「どうすれば実力を高められるか」を考え、創意工夫した結果、「甲子園出場」という素晴らしい成果につながったのだと思います。学校行事についても、1学期に実施した運動会では、極力声を出さない工夫をしたことで、縦割り応援合戦を復活させることができました。これも、皆さんが、練習方法から工夫して取り組んだ成果だったと思います。

新型コロナの影響で、今まで当たり前だったことができなかったり、新たな創意工夫が求められたりするなど、その影響はまだ続きそうです。このような困難に対して、何もしないのでは、成長もありません。「どうすればできるか」を考え、目的意識を共有して、できることをコツコツ実践することが、少しずつでも成長につながるのだと思います。

今みなさんは、「困難」のまっただ中に居ます。その「困難」を、創意工夫をしながら乗り越えた先に、皆さんの確実な成長があることは間違いありません。コロナ禍だからこそできる「成長」があると思います。「困難」を乗り越えることで、個人としても、学級・学年・学校という集団としても、大きく成長する「横中生」であってほしいと思っています。色々な制限があって、苦しくて、悔しくて、楽しくないことはいっぱいありますが、「横中生」の総力を挙げて、困難を乗り越えていきましょう。

## ★ クリーン作戦 (Bプラン) 横中生のボランティア精神炸裂 !! ★



9月7日(火)から9日(木)までの3日間、全校生徒はそれぞれの通学路のゴミ拾いをしながら登校しました。生徒の感想を紹介します。

<1年生>

・あまりゴミがありませんでした。これは地域の人々が毎日ゴミ拾いをしてくれているおかげで、町がきれいになった結果だと思いました。

・普段通る道にたくさんのゴミがあり、ルールやマナーを守らない人が多くいるのだなと思いました。1日目になかったはずのゴミが2日目にあり、毎日のように道にゴミが捨てられていることを知り、怒りと悔しさでいっぱいでした。ルールやマナーを守る人が増えてくれれば良いなと思いました。

<2年生>

・予想していたよりもゴミが多かったから、自分が拾ってゴミを少なくしていきたいし、このような活動を見てポイ捨てをする人が少なくなってほしいと思いました。

・大通り以外の細い道などにゴミがありました。今まで外で遊んでいた時、ゴミがあったら持ち帰るようにしていたので、これからもポイ捨てをしないようにして地域を汚さないようにしようと思います。

<3年生>

・私が登校時に通っているところは、前からゴミがたくさん落ちていて、気になっていただけなかなかゴミが拾えませんでした。だけど、クリーン作戦で、思ったよりもたくさんのゴミを拾えてすっきりしたし、友だちとも更に仲良くなれた気がします。

・意外と自分の通る道にゴミが少なくて驚きました。最終的にはほぼ完璧にきれいな道にすることができたのでよかったです。これを機に、地域に対する関心を持ち、他のことも積極的に出来たらいいなと思います。



## ★ 遠隔部活動にトライしました ★

男子バレーボール部が、顧問の工藤慎也先生の指導の下、9月17日(金)・24日(金)17:00~18:00に「遠隔部活動」を行いました。クロームブックを活用し、各自が自宅にいながら、ボールを用いたメニューや、体力づくりのためのトレーニングに汗を流しました。取組の様子は、画面を通してお互いが確認し合っていくことが出来ます。また、毎日取り組む「トレーニングメニュー」というものがあり、各自が目的意識をもって真剣に取り組んでいます！工夫のある素晴らしい取組です！！

## 【7・8月の大会結果】 おめでとうございます！！

\*第12回東青地区陸上競技選手権大会

<女子走幅跳> 第3位 小野 蘭妃良

<女子走幅跳> 第4位 小野 蘭妃良

<男子共通3000M> 第4位 成田 滝月

<女子2年100M> 第7位 須藤 優

<女子400M> 第8位 鈴木 彩絵

\*第53回東青中学校ソフトテニス夏季大会

優勝 江波戸樟太・長内亮太ペア

## 【10月の主な行事予定】

1日(金) 市中教研教科別研究集会

18日(月)・19日(火) 振替休業

5日(火)~15日(金) 横中祭強調週間

21日(木) 専門特別委員会

6日(水) 「令和の日本型教育」に係る研究協議会

22日(金) 中央委員会

8日(金) 同上

25日(月) 後期時間割スタート

16日(土) 横中祭予行・準備

27日(水) 口座振替日

17日(日) 横中祭

※予定は変更になる場合がありますので、各学年の週予定を十分にご確認ください。よろしくお願いいたします。